

# ENGAWA

2012 第2号



"WEB 版道の駅"で取り扱う商品が見つかり思わずニッコリの、  
NPO 法人まちづくりネットワーク WILL の富士川さん

## ■表紙のことば

今年9月天竜区役所で、『浜松市中山間地域まちづくり事業交付金申請事業審査会』が行われました。審査を通過したのは、天竜区で活躍する『NPO 法人まちづくりネットワーク WILL』

提案事業は、インターネット上に"WEB 版道の駅"を開設し、SNSによる情報発信と都市部の住民を繋ぐコミュニティを形成することで、中山間地域の観光産業の活性化を目指した事業。事業採択後、まちづくりネットワーク WILL の富士川さんは、"WEB 版道の駅"で取り扱う中山間地域の商品を、求め駆けまわっています。

現在、中山間地域街づくり事業交付金申請は第2期の募集が行われています。中山間地域に事務所を置く、NPO 法人の皆さんのがんばりと光るアイディアを提案してみてはいかがでしょうか。

## 目次

### ◆ スタートアップ講座開催

計3回に渡り行われた、市民活動スタートアップ講座。この講座を通して、市民活動の今後を考えます。

### ◆ エンガワトピックス

- 北区で活躍する NPO 法人  
ページ 5
- 協働マッチング事業紹介！  
ページ 6,7

### ◆ Check !!

静岡県人権啓発センターと市民協働センター共催で開催する「スキルアップセミナー」のお知らせ。

## 浜松地域人づくり大学 市民活動スタートアップ講座 開催

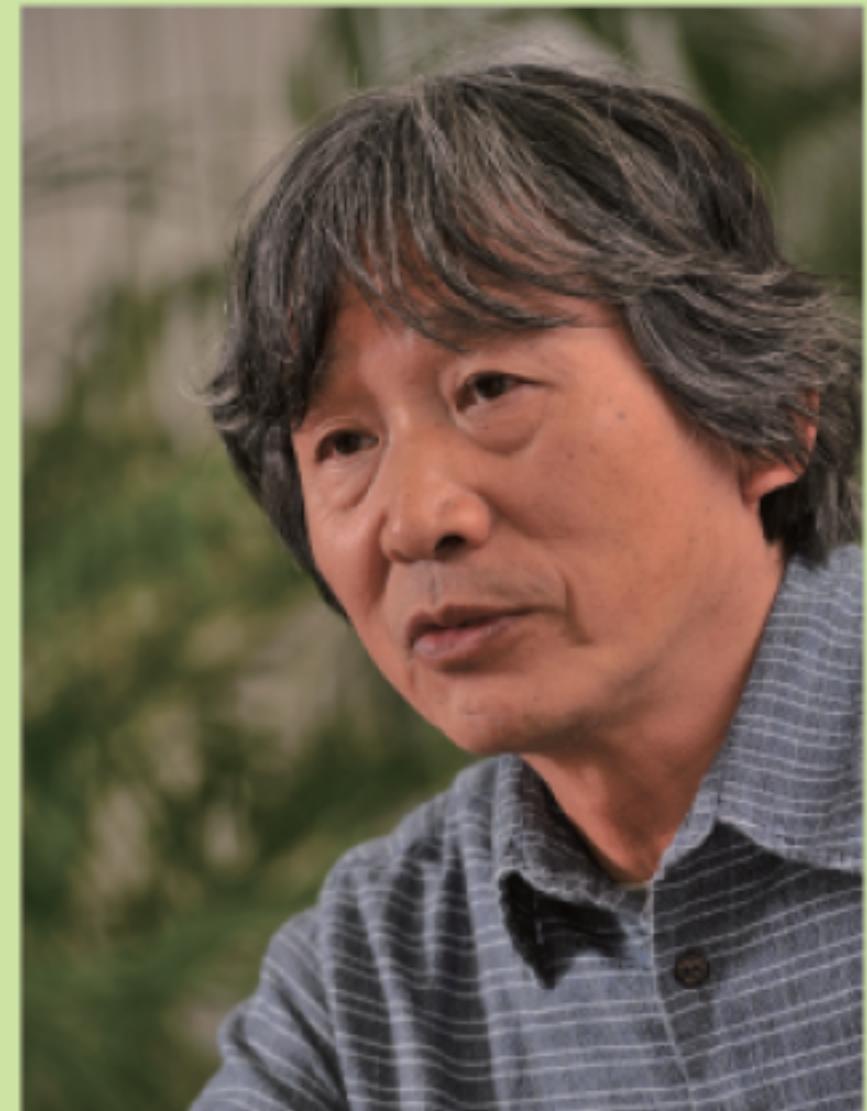
# これから市民活動をはじめるための“ヒント”

延べ130人を超える方が受講。高まる市民活動への関心

### 第一回講座 「市民協働ってなに？」

浜松市  
市民協働センター  
センター長  
長田 治義

### 第三回講座（特別講演会）



### 第二回講座

### 「協働事例の視察」

天竜これからの森を考える会  
TENKOMORI  
会長 前田 剛志 氏



「企業のCSRから学ぶ」  
～企業が果たす社会貢献。  
今、リーダーに求められる力～  
株式会社モンベル  
代表取締役会長  
辰野 勇 氏

### 浜松地域人づくり大学は・・

浜松市が実施している、地域での活動に役立つ知識や技術を、講座を通して身につけ、市民協働の担い手としての人材を育成し、地域で活躍していただくための仕組みです。

今回の『市民活動スタートアップ講座』は、特に企業との協働をテーマに、市民の皆さんの自主的・自発的な社会貢献を応援するため開講しました。

今年10月3日から10月31日まで、計3回にわたり、市民活動や地域活動に興味を持つ人、これから活動を始めたい人を対象とした『浜松地域人づくり大学市民活動スタートアップ講座』が開催されました。

最近よく耳にする市民協働。第一回講座は、行政・市民活動団体・企業の関係と役割について学ぶ「市民協働ってなに？」と題した座学から始まりました。天竜区熊地域の現地視察を含め、林業に従事している方々の社会貢献活動を学ぶ第二回講座。そして第三回講座では、東日本大震災において、いち早く被災地に駆け付け支援活動を実践したアウトドア総合メーカー 株式会社モンベル会長の辰野さんをお招きし、リーダーに求められる資質を学びました。

今回は、この講座のようすを紹介します。

# 第一回講座 10月3日

## 『協働ってなに?』

## 若者の“想い”に立ちあがった“人・団体・企業”

東北の震災直後、被災地に文具を送りたいという市内のある中学生たちの想いと動きに、市内の大学生が呼応。それに様々な市民団体や企業が連携することで実現した事例。さらそこから波及し、7月には被災地の子供たちを約一週間、浜松に招き過ごしてもらうことが実現した“心の耕しツアーノ”的実例などを交え、長田センター長の話しへ始まりました。

これからの、行政・市民活動団体・企業のそれぞれの役割。その三者が協働し繁栄していく、これからの中のあるべき姿など、90分間の講座に、参加者の皆さんからは「わかりやすかった」「市民協働事例の話に感動しました」など、多くの感想が寄せられ、それぞれの活動の後押しができる講座となりました。



市民協働のあるべき姿を現した図

第二回講座 10月13日



—自然を読む— 山とまちの繋ぎ手に・・・

## 木を使う = 環境保全？！

日本三大人工美林として知られる天竜の森。それを守り元気にしたい！と、天竜の木と生きる若者の集団が、『天竜これからの森を考える会』(TENKOMORI)です。

天竜の森はほとんどが人工林、環境や減災などに配慮しながら、

伐採と植林を繰り返すことで、多くの生き物が住む明るい元気な森になります。そのためには、まちの人達がもっと生活の中に「日本の木」を取り入れ有効利用して欲しい、それによって、林業全般が活性化し、健康な森が維持され、さらには環境の保全もできます。とTENKOMORI 会長の前田さんは語ります。

## 森の今を知ってほしい

市内の中学校で、森林のことや林業の紹介をする活動を、TENKOMORIはしています。

今回の講座は会長の前田さんに講師をしていただき、天竜区熊の山を散策、山の実態を学び、実際に木を切り出す体験もしました。

午後の座学講義では前田さんを囲み、山や森に対する“熱い想い”や、これから活動の展望などを話していただきました。

ひとりの“きこり”のCSRとして、森を守り、森を元気にしようとする前田さんの講座。この講座をきっかけに、ひとりでも多くの方が市民活動に参加していただけることを願ってやみません。



### 前田さんの“熱い語り”に引込まれる参加者



年輪の幅が広い年は、間伐が行われなかつた。年輪は木の履歴書と語る前田さん

第三回講座 10月31日

# —今、リーダーに 求められるもの—

## 「企業のCSRから学ぶ」



『市民活動スタートアップ講座』  
三回目は株式会社モンベルの辰野  
会長に講師をお願いし、経営者目  
線での市民活動や企業のCSR、  
その中で求められるリーダーの資  
質などについて語っていただきま  
した。

### 二つの夢の実現

日本を代表するアウトドアメー  
カー株式会社モンベルの歴史は、  
会長の辰野さんの少年時代の夢か  
ら始まります。

少年時代に、スイスのアイガー  
北壁の登頂成功をした登山家の著  
書に深く感銘を受け、夢であるア  
イガー北壁登頂を目指しました。  
アルバイトで資金を貯め、ついに  
21歳で日本人としては第二踏、  
当時の世界最年少記録で登頂成功  
を果たしました。

さらに、28歳でもうひとつの  
夢“山に関わるビジネス”的立ち  
上げの実現をはたし、モンベルの  
起業に至ります。

### 世の中から必要とされる会社

何年先も世の中から必要とされ  
支持される会社でありたいと、辰  
野さんは語ります。

その創業理念が、日本で最初の  
障害者カヌー教室開催をはじめ、  
あらゆる分野での社会貢献活動を  
すすめる企業に飛躍させました。  
さらには、昨年の東日本大震災の  
際には、会長自らいち早く被災地  
に向かい、支援活動に奮闘したこと  
にも表れています。

### NPO法人への苦言

また、自らもNPO法人の理事として活動している辰野さんは、多くのNPO法人の抱える問題と課題についても講演の中で触れました。

今のNPO法人には、も  
っとしっかりした運営をし

て欲しい。行政の助成金など、短期や継続性の弱い資金を基にした運営だけではなく、安定的な収入が確保できる法人経営を進めて欲  
しい。

### 求められるリーダーの資質

また、企業であれNPO法人であ  
れ、リーダーの存在と資質につ  
いても辰野さんは明言しました。

リーダーに求められる資質は、第  
1に集中力 第2に持続力 第3  
に判断力であり、そしてそれ以上  
に大事な資質は『決断力』である。  
特に緊急な状況においての決断力  
の有無は、団体の進路を左右する  
ことも語られました。

NPO法人も株式会社も非営利、  
営利の違いはあるとしても『法人』  
であることに変わりはありません。  
そこに働く者は確固たるリーダー  
シップを持ち、安定した法人経営  
をするべきであると、今回の講座  
で学ぶ事が出来たのではないでし  
ょうか。

皆さんも市民協働センターの講  
座に積極的に参加してみませんか。



エンガワとぴっくす

# NPO法人 大好き渋川



いつでも笑顔で迎えてくれる“てんてんゴーしぶ川”的皆さん



渋川町史跡をまわる婚活イベントの参加者。史跡は『井伊家の菩提樹』

## 元気になれ、渋川！！

美しい山の稜線に囲まれ、豊かな緑が広がるまち、北区引佐町渋川。全国の中山間地域が過疎・高齢化といった問題を抱える今、渋川地域も、その例外ではありません。しかし、そんな渋川を元気にして、多くの人に来てもらいたい！という思いから、積極的に活動している団体があります。キャンプ場である”てんてんゴーしぶ



明治時代に作られたという凱旋門

川”を拠点に、地元の活性化を進める『NPO法人大好き渋川』です。

## 地域の“宝”を守る

渋川には、古くからの歴史を伝える名跡や伝統芸能、そして緑豊かな自然が残っています。しかし、地域の人口が減少するに伴い、それらを守り伝えていく若者がどんどん少なくなっている現状です。

そんな渋川が抱える問題に歯止めをかけるため、まずはたくさんの人に渋川の良さを知ってもらうと、てんてんゴーしぶ川のキャンプ場内のコテージを使った山荘展や婚活イベントを行い、都市部との交流人口の増加に努めています。最近では、以前のイベントの参加者が再び渋川を訪れるという

嬉しい成果もあり、少しづつ活動が実を結んでいるそうです。

## あなたも、渋川ファンに

渋川のファンを増やしたい！と語る理事長の山本さん。今後は、周辺地域の団体と連携しながら、“てんてんゴーしぶ川”を、多くの人が訪れる場とし、地域活性の一翼を担いたいと考えています。

皆さんもぜひ渋川へ尋ねてみてください。素晴らしい自然と様々な史跡。そして素敵な“てんてんゴーしぶ川”的スタッフさんに、お会いできますよ。

# とともに “手をつなぐ”

## NPOと行政の協働

今年6月、浜松市市民協働センターで開催されたNPO・行政・企業をつなぐパートナーシップミーティング。その中で行われた、新たな協働事業の提案発表会「プレゼンテーションフォーラム」において、何件かの協働が実現し、事業が進められています。今回はその内の2件を紹介します。



## 心にユニバーサルデザインを ・・UD協働事業

誰もが、暮らしやすいまちづくりを実現するために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた市民の主体的な事業提案へ、浜松市がNPO法人に事業を委託する「ユニバーサルデザイン（以下UD）協働事業」

NPO法人地域づくりサポートネットは、『ハード・ソフト両面から、多くの市民にUDへの理解を進めよう』と事業を企画し、浜松市から、この事業委託を受けました。

### 市街地でUDの検証

10月21日、事業の第一段階として、中心市街地の歩道や街角にどんなUDがあるのか、実際に車イスを使ったり、歩いたりして検証する活動を行いました。

歩道と車道の段差や、何気ない道の傾斜が、車イスにとっては、かなりの負担になること、街中の案内板が、車イスの目線からは見えにくいことなどを確認しました。

また、参加した車イスを常に利用している人たちからは、介助の

際、ひと声のことば掛けが無いと、対象者はとても恐怖を感じてしまうことなどの報告もされ、“心のUD”も重要であることも学びました。

### UDマップを

今後は“まちなかUDマップ”的作成も計画されており、誰もが、安心・安全・快適に暮らすことができる社会づくりに大きく貢献できるのではと期待されます。

皆さんも、UDの視点で「まちあるき」をしてみてください。

# 協働マッチング事業

## & NPOと企業の協働



### 企業とNPOが手を組み“個性を輝かせる”協働事業

#### 障害者が働き活躍できる場を

東海ビル管理株式会社は、国が定める障害者雇用率を達成しています。公共施設の指定管理をはじめ公園緑地の管理、清掃事業など幅広い分野で事業展開している企業です。

この会社では、以前より障害者雇用促進に力をいれ、専門のアドバイザーをおいています。

6月に開催された浜松市市民協働センターでの協働のためのプレゼンテーションフォーラムでは、

その障害者雇用促進アドバイザーの内海和幸さんが「浜松市をはじめ県内で障害者が活躍できる場を提供してもらいたい」という提案をしました。

#### 企業提案にNPO法人が呼応

この呼び掛けに、障害者の雇用促進に積極的に取り組むNPO法人浜松NPOネットワークセンター（以下N-ポケット）が賛同し、10月4日、実際に障害者が働く現場に、多くの企業人事担当者を招き、東海ビルとN-ポケットと

の協働開催での雇用現場見学会が開催されました。当日はN-ポケット雇用促進担当者の実例説明もあり、参加した企業担当者からは、「自分の会社で働く従業員と仕事ぶりは、さほど変わらない、むしろ熱心」との感想もありました。

内海さんは「障害者でも健常者でも、苦手なこと得意なことは、それぞれ違う。それを個性として認めてもらいたい。そこが理解して頂ければ、雇用はもっと増えるはず」と話しました。

# Check!

今、不安や孤独にひざを抱えている君へ。  
それでも、前に向かって  
歩こうとしている君へ。

僕たちは、地元浜松を拠点に活動をつづけているJam9。  
2003年に結成、アルバイトを掛け持ちしながらのストリートライブ。  
先の見えない音楽活動は、決して順風満帆とはいえないかった。  
不安な日々の連続で、派遣切りにも遭った。  
「解散」って言葉が、何度も心をよぎった……。

そんな僕だらけの僕たちに、「涙がこぼれそうになら空を見上げろ」と教えてくれる人がいた。  
大切な人の笑顔が『大丈夫』って言葉が、  
くじけそうな心に寄り添ってくれた。  
そう、いつだって僕たちはひとりきりじゃなかった。  
だから、夢をあきらめずにまっすぐ走りつづけることができた……。

僕たちはストリートライブをつづけた。  
ひたすらに自分を信じつけた。  
そして、2010年6月、『家族』でメジャーデビュー。  
結成から8年目のことだった。

僕たちは、今も静岡の街角で歌いつづけている。  
僕たちを信じて、支えつづけてくれた大切な人たちへ。  
心からの「ありがとう」を伝えるために。  
そして、これから出会う君へ  
「ひとりきりじゃない」と伝えるために……。

どうか、自分を大切にして欲しい。  
人と向き合うことで傷つくこともあるけど、  
傷を癒してくれるのも人だから。  
いつかきっと、君も誰かを支える人になれるから。

ひとりきりじゃない。つながっていこう。  
この空がどこまでもつながっているように。

僕たちの歌が、  
誰かの支えになれますよう。

Jam9

自分を大切にすると、  
大切な人が増えていく。



みんなで築こう 人権の世紀 ~考え方より 相手の気持ち 背じよう 思いやりの心~



静岡を拠点に活動する Jam9  
2003年結成、2010年メジャーデビュー。同年には、上海万博・日本館にて開催された静岡WEEKに音代表として出展。Jam9としての活動を並行し、K-POPスター「KARA」などとのメジャーアーティストへの裏番組を行っている。浜松在住。



スペシャル映像期間限定公開  
<http://www.jinken-shizuoka.jp/>



静岡県人権啓発センター  
静岡県健康福祉部地域福祉課人権同和対策室  
〒420-0095静岡市葵区葵南町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階  
TEL 054-221-3330 FAX 054-221-1948  
URL <http://jinken.pref.shizuoka.jp/>



## 「人権に配慮した相談対応を行うためのスキルアップ講座」

日時：平成25年1月29日(火)10:00～16:45

定員：80名

会場：浜松市市民協働センター(2階会議室・ギャラリー)

対象者：各種相談機関において相談業務に携わる方、各種業務において住民と接する方、人権について興味のある方

【参加申込】

県人権啓発センターのHP(<http://jinken.pref.shizuoka.jp/>)から参加申込書をダウンロードしお申し込みください

(※申込期限：平成24年12月25日(火)、先着順) 主催：静岡県人権啓発センター 共催：浜松市市民協働センター

発行 浜松市市民協働センター 〒430-0929 浜松市中区中央1丁目13-3

電話 053-457-2616 FAX 053-457-2617

URL <http://www.machien-hamamatsu.jp> E-Mail [Kyoudou@machien-hamamatsu.jp](mailto:Kyoudou@machien-hamamatsu.jp)